

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

# ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター  
Fujimino International Cultural Exchange Center

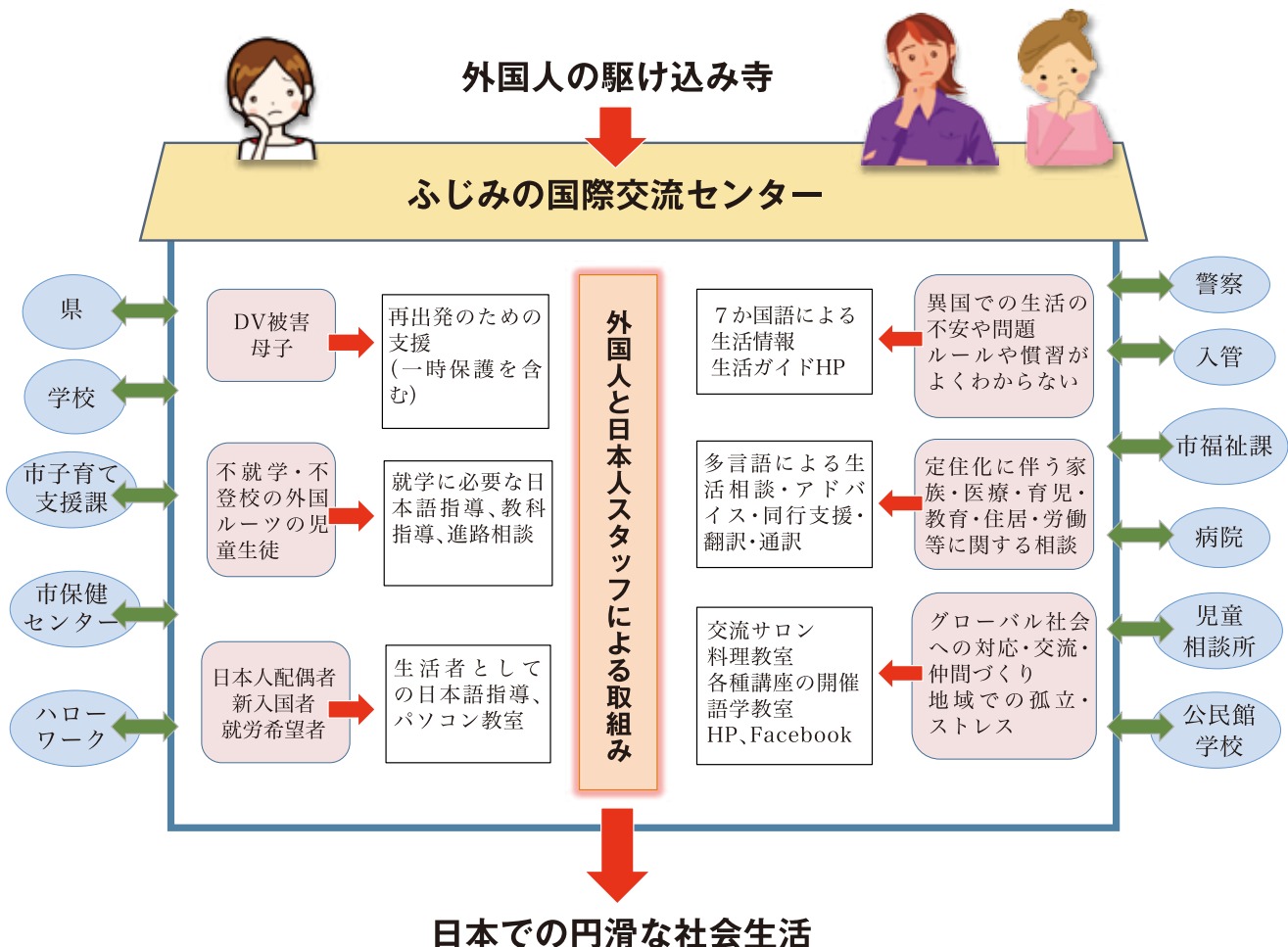
2016年夏号(季刊)第140号

## 「一目でわかるふじみの国際交流センターの活動内容」

6月12日の総会で27年度の事業報告・決算報告、28年度事業計画・予算案の総てが承認されました。ありがとうございました。

その席上、会員の方から「FICECの活動がよくわからない」という意見が出され、一目でわかる組織図の必要性に気がつき、下記のような図を作成しました。

FICECは外国人の駆け込み寺としての活動の他に、日本人のための事業や、活動を継続するための縁の下的な事業もしています。これからもますますのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願い致します。



「一目でわかるふじみの国際交流センターの活動内容」

パソコン教室講師 …………… 梶 里美

今から約30年前…アメリカIBM製パソコン 私とパソコンとの出会い。

その頃の人々の関心の目はいわゆる人気絶頂の「ワープロ専用機」でした。

パソコンは一番隅…ゴツイ四角張った彼？は電源ONのみで一日過ごすこともあり…

数日後 私はゴツイ彼にひとめぼれ。説明書を片手に融通の利かない彼を私の思い通りのメンズにすべく格闘の日々。その頃の彼はハードもなくソフトも入れてあげないとダメな自立出来ない全くのただの箱。一太郎とロータスが主流ソフト。起動も印刷も全てフロッピーディスクと呼ばれる連中に頼る日々。しかし頭の良さでワープロ専用機と全く違うハイセンスに私は心を奪われました。

そして30年後…パソコンは物凄いスピードで変化と進化を繰り返し日常生活の必須アイテムとしての地位を確立しました。今や完全に自立した彼は武器にも凶器にも七変化出来る名俳優になりました。少々前置きが長くなりましたが…

皆さんには脇役としてアイテムとして生活の中で使いこなして頂きたいと切に願っているのです。パソコンは一瞬で凶器にもなり得るものなのです。ネットは正しく扱えば便利ですが使い方間違えるとこれも然りです。

7～8年前からセンターのパソコン教室で月2回

(第2と第4木曜日 午後1:00-2:30)行っています。皆さんに主にワードとエクセルを中心に授業をしていますが数年間の間にもソフトは何回もバージョンアップを繰り返し生徒さんのワードバージョンが全員違う！なんて事もしばしばです。私の方が頭を試されている？気分もしばしばです。そして当然の如くお国もバラバラ。時には単語の意味や日本的な習慣を説明しながらの授業もありで国語？の勉強もまた楽しんでいます。

年末には毎年恒例のクリスマスカードと年賀状作成講座で一年間の締め授業です。

皆さんスタートレベルも理解スピードも個々違うので基本的にはマンツーマンレッスン。ですから全員違うテキストで勉強しています。時には脱線話あり笑いの絶えない時間を過ごしています。

いつも感心させられるのは日本語読みを調べながらもコツコツと作成し完成させていく真摯な姿勢です。本当に皆さん努力家です。そして進歩も早いですね。

普通は宿題を嫌がるのにセンターの生徒さんは宿題を要求します。どれだけ熱心なの？といつもビックリです。センターのスタッフの方もいつも温かく見守って頂き感謝しています。

これからも私の頭も錆びないよう磨きつつ皆さんのお手伝いが出来たらと願います。



パソコン教室生徒 …………… 秋本ノエミ

パソコンを始めたきっかけは友達に誘われたからです。ちょうどその時は私も習い事考えていました。画の勉強にするか料理教室にするか迷うときでした。最初は軽い気持ちで今のパソコン教室に行きました。何を打っていいかわからない状況でした。ワードって何？エクセルって何？最初はわからない事ばかりでした。最初、ワードを教えてくださいました。習っているうちに少し面白くなって自分のパソコンを買いました。今はワードとエクセルも作ることが出来るようになりました。先生の優しい教え方とわかりやすい言葉のおかげだと感謝しています。今簡単なチラシ、年賀状も作る事が出来ました。パソコン教室通いは三年になりました。パソコンの勉強のためだけではなく、友達との触れ合いも大切にしたいから通い続けています。



パソコン教室生徒 …………… 近沢エルザ

ゼロからパソコン教室を始めるのが不安でしたけれども先生に優しく丁寧に指導してもらい、スムーズに進む事が出来るのに驚きました。それぞれの新しい機能を習うと嬉しくて、うわ～と自然に声が出るほどパソコン教室が楽しいのです。それにアットホームな雰囲気先生がとても親切なので、気兼ねなく質問出来ます。自分のペースで、考えもしなかった作品を作る事が出来てすごく幸せです。集中する時間が出来るのが、私にとって貴重な時間です。一緒に受講している方たちとも雑談出来て楽しいです。明るく、とても良い感じの教室の雰囲気なので楽しんで通っています。



(図案はパソコン教室での作成物です)

## 高校の思い出は文化祭のお化け屋敷を クラスの子たちと一緒に準備したこと

周さん

広西省 桂林市出身、1995年  
生まれの21歳 大学2年生で  
両親と弟の4人家族。

中国で中学校を卒業して、  
2010年7月に来日した。

日本に来て驚いた事は、キ  
レイでゴミが落ちていないこ  
と、夜に人が外出していない  
こと、それと人々が礼儀正し  
いこと。例えばエスカレー  
ターに乗る時に右側を空ける  
とか、車が歩行者の横断を  
待ってくれるとか。

高校に入るまでFICECで日  
本語と教科を勉強した。  
FICECの存在を知ったのは、  
母が市役所で私が日本の中学

に入れるかどうか聞いたら、入れないということが  
わかって、日本語を勉強するところを探していた時  
に、地域の日本語教室のパンフレットをもらってそ  
こに載っていたから。他の日本語教室と掛け持ちし  
ながらFICECには木曜日と土曜日に行き、日本語  
と学科の勉強をした。FICECでは朝からお昼を挟ん  
で3時頃まで勉強していた。「みんなの日本語」を  
使ってスタッフがとても親切に日本語を教えてくれ  
た。日本語は漢字があるので、日本語では読めない  
が、意味がわかるので有利だった。好きな学科は数  
学。勉強だけじゃなくて、日本と中国の文化の違いに  
ついてみんなで話したりしながら日本の文化や習慣  
を学んだのが面白かった。

2011年の3月に私立高校の外国人入学枠で入学  
した。その高校は韓国の学校と姉妹校だったので、1  
年の時に韓国人留学生数人と一緒に毎日日本語の授  
業を受けていて、その時に台湾人の子と友だちにな  
った。日本人の子とはあまりしゃべらなかった。何  
を話していいかわからない。高校の思い出は文化  
祭の出しものでお化け屋敷をクラスの日本人の子  
たちと一緒に準備したこと。中国には体育祭はあるが  
、文化祭はない。とても楽しかった。高校に上がっ  
てからはFICECには土曜日と、学校が休みの時に通った。

今は大学2年生。経営を勉強している。中国と日本  
に関わるような、貿易の仕事に興味がある。日本で  
国際貿易に関する仕事に就職するが、日本で何年か  
仕事をして、中国の桂林で観光会社を経営したい。でも



桂林市出身。21歳

ずっと日本にいるかもしれない。この進路を選んだ  
のは高校の時に先生からあなたの夢は何？と聞かれ  
たけど言えなかったの、それから何がやりたいか  
考えて選んだ。3年から就職に向けて準備をしない  
と。だけど、面接が心配。友だちとしゃべるのは好き  
だけど人前で話すのは苦手で、すごく緊張するから、  
日本語だと上手く話せない気がするし。

大学では友だちは中国人ばかりで一緒にいる。私  
の大学は他の大学と比べて、中国人が少ないから、中  
国人同士で仲良くしてる。日本人は日本人同士の友  
だちのグループで一緒にいるから、お互いに入りこ  
むのが難しいと感じている。挨拶したりレポートに  
ついて聞いたりするけど話しをするのは少ない。  
中国でもグループで固まっていたので同じだと思う。

放課後レジのバイトをしている。バイトの人たち  
はやさしい。wechatや、携帯のゲームや音楽を聴く  
のが好き。特にこの曲というのはなくて、色々いっ  
ぱい聴いている。テレビを見るのも好きだ。

FICECのスタッフはボランティアだけど、みんな  
親切で一人一人と付き合っている。私も少しでも、  
みんなの役に立ちたくてFICECと一緒にボランティア  
活動に参加した。(公園での植樹活動や上福岡の祭り  
でFICECが運営していた模擬店の手伝い)自分もボ  
ランティアの立場で活動し、それを通じて、みんなの  
笑顔を見て、温かい気持ちになった。とてもいい経験  
だった。FICECが好きなので、FICECはこのままで続  
いてほしい。(インタビュー:加藤・小林 写真:本多)





### スタッフ紹介

#### 「日本を知る再勉強の機会に」

#### 松村芳枝

FICECで毎週日本語指導のボランティア活動に参加させていただいています。

1988年に単身渡米、2015年帰国した私自身の経験を顧みると、語学の早期習得が外国に定住し、生活するための最も重要な鍵であり、最も基本的な優先事項であると信じています。それゆえに、「日本語教室」は、FICECの根幹を成すものと思われま

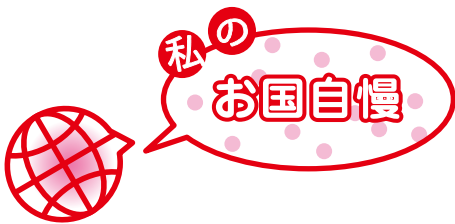
す。私はまだまだ未熟な日本語ボランティアなので、相手の年齢や母国語の違いにより柔軟に教授法を変える等の気も廻らず、他のボランティアの皆さんの経験と知識に裏付けられた個々の教授法に大いに触発され、又、生徒の皆さんから教え方のヒントを貰い受け、都度勉強させていただいています。

更に、日本語を解さない外国人に日本語を教えるという行為は、実はテキストの中の言葉の字面だけではなく、日本の文化、歴史を含め人文学的な、百科事典的な知識をも、その言葉の持つ背景として要求されていることに気がつきました。

こりゃ、エライことを始めてしまった、という多

少恐れにも似た感覚が当初の極めて正直な思いでしたが、現在は少しキモが座って、というか開き直って、学習者と一緒に「日本」を勉強し直せば良い、という風に変化してきました。再び正直に申し上げるとこれは実はアメリカにいた時も、ウスウス感じていた思いでした。非日本人との会話が「日本」を話題にしたときに、ウロ覚えの昔々学んだ筈の日本の歴史、地理、風土、伝統等の知識が私の中ですっかり風化してしまって、相手に正確に(と思われる)情報を与えられないことに、いささか後ろめたさを感じたりしたことがありました。

FICECに参加させていただいたことで、むしろ日本を知る再勉強の良い機会ができたこと、前向きに喜んでおります。幸いにも私の英語がFICECでお役に立つ機会もあり、先ずは悩みながらも良いスタートがきれたと思います。FICECの多岐に亘る事業と多様なこの環境は、私には大変面白く、又、居心地も良いことを発見しました。未永く活動を続けられれば幸いです。



#### 「Pride of Cebu」

#### 吉井ジュリエッタ

セブと言えば、フィリピン人はビーチとドライマンゴーを思い出します。ビーチは真珠のようにきれいです。砂浜はいろんな種類の砂でできています。ここにある写真は姪がカモテ島で撮ってくれました。この島はセブの東側にあります。カモテ島に行くには、セブ・シティの中心からボートで2時間かかります。



セブ島だけではなくフィリピン中で、ドライマンゴーはとても有名で、みんなが大好きなお菓子です。セブアーノたち(セブの人々)は、島のドライマンゴーがよく売れていることを誇りに思っています。他の国もドライマンゴーを作っていますが、私は、「セブのドライマンゴーほどおいしいものはない」と言いたいです!



## ふじみの国際交流センターを応援しています

## 「平和な世界を築く架け橋に」

6月23日(木)、応援メッセージを書いて欲しいとの依頼を受けた。

何もしていない私に、「いつも応援をしている」なんて、とても言えた義理ではないが、送られてくる「ハローフレンズ」の活動の広さ・深さ、そして未来に向けた発信と行動力には、心から敬服している。

国際交流センターの活動は、①外国ルーツの人達の自立支援、②一般市民・団体との交流・協力活動の推進、③豊かな多文化共生社会の実現を目指す、という崇高とも言える具体的な理念に貫かれている。

そしてその目的達成に向かって、地道に活動しているスタッフの方々の熱意・努力には、頭の下がる思いである。

平成27年度に、この長年の活動が認められて、第64回読売教育賞と埼玉県ふれあい教育賞の2つを同時に受賞したとの報に接し、私は思わず「やった。ナナちゃん、おめでとう」と叫んでしまった。

昨年総会終了後に、和気あいあいの中でイン

## 駒形 一夫さん

ドネシアの料理をご馳走になった。正に多文化共生社会を目指す活動の一端に触れた。

願わくは、こうした国際交流センターの活動を通して心の絆が結ばれ、国境を越えて人類みな兄弟姉妹の思いが広がり、「平和な世界を築く架け橋」となってくれることを祈らずにはおられない。

石井理事長は、中学1年生当時、「見送りの三振より、空振りの三振」を彷彿させる発想力と行動力を持っていた。それが活動の土台となり、ふじみの国際交流センターの設立となったのであろう。

以来、こつこつとたゆまぬ努力と工夫を重ね、全国から114応募された中から、地域社会教育活動部門の最優秀賞として選ばれたことは、趣旨に賛同するスタッフの力強い協力があつたればこそその受賞であり、石井理事長を教え子とする私にとっても最高の誇りである。

今後ともふじみの国際交流センターに集う全ての人々の未来に、健康に恵まれ充実した日々が築かれるよう、心から祈っております。

見送りの3振より  
空振りの3振

## パートⅡ

石井ナナエ

○月○日

6月なのに気温30度の暑さ。でも食欲は一向に減らない。タフなのか、お腹までボケたのか。総会が無事に終わり20年目を迎えたFICEC。なんだかすごくホッとしている。

○月○日

料理長の父を持つA君。高校を卒業し専門学校に通っていても家族滞在ビザのままでは正社員としての就職もできない。行政書士の藤林さんから届いた『家族滞在ビザの若者の内、日本で義務教育を受け、心身ともに健全でこれからは日本で暮らすことを希望している者には、親の在留資格と離して、定住者ビザを与えることを考えて欲しい』と言う法務大臣の通達を持って入管に在留資格変更の申請に行った。案の定、窓口で「そんなことはあり得ない」と断られたという。そこでこの法務大臣の通達を伝えた所「すみませんでした」と書類を受け取っても

らえた。果たして「定住者」の資格がもらえるかどうかは定かではないが、A君が「家族滞在から定住者ビザ」の取得第1号になれたらうれしい。

○月○日

FICECの日本語教室に難民申請中の「特定活動ビザ」を持った人が増えた。審査に時間がかかるうえに「何度申請を繰り返してもよい」という人道的な配慮により、就労は許されないが日本での滞在が許され、月8万5千円の手当と国民健康保険証を貰って日本で暮らしているアフリカ人や東南アジア人。外から見ると黒光りした屈強な体格の彼らだが怪我もするし病気にもなる。無料低額診療事業や安全サポートネットを活用して治療を受けているが、その数の多さに関係機関は悲鳴を上げている。イギリスがEUを離脱した理由のひとつが移民問題だと聞いているが、その気持ちが解らなくもない。どうしたもんだらう。

ふじみの国際交流センターへの寄付は最大50%の減税に！

ポイント

- ・所得税は必ず減税となる。住民税は減税となる場合がある。
- ・確定申告（還付申告）が必要

〔寄付金控除の仕組み〕

1 ふじみの国際交流センターに寄付をする（1月～12月）

ふじみの国際交流センターに頑張してほしい



寄附

領収書

ふじみの国際交流センター



- 2 源泉徴収票をもらってくる（勤務先）（翌年1月）
- 3 確定申告書を作成して税務署に提出する（2月中旬～3月15日）
- 4 還付金の振り込みを確認する（4月）

日本の安全と外国人支援に協力した上に、税金が戻った



還付金

最大50%の  
税額控除

減税



国・自治体

減税額

■【所得税の計算式】どちらか有利な方を選択できます。

①税額控除

$$\left( \text{寄付金合計額} - 2000 \text{円} \right) \times 40\% = \text{減税額【所得税分】}$$

②所得控除

$$\left( \text{寄付金合計額} - 2000 \text{円} \right) \times \text{所得税率} = \text{減税額【所得税分】}$$

■【個人住民税の計算式】税額控除のみ

$$\left( \text{寄付金合計額} - 2000 \text{円} \right) \times 10\% = \text{減税額【個人住民税分】}$$

ふじみの国際交流センターに寄付していただいたお金はこんな風に使わせていただいています



- ◆活動するための拠点の家賃(2か所) 146万円
- ◆事業費(年間315日) 505万円
- ◆スタッフ人件費(延べ2100人分) 139万円
- ◆光熱水道費・通信交通費・その他経費 111万円
- ◆法人税・消費税 29万円





第18回定期総会が行われました



6月12日(日)に第18回定期総会が行われました。

平成27年度事業報告および収支決算報告、平成28年度事業計画案および収支予算案について報告をしたあと、質疑が行われました。議事はすべて承認されました

その後、懇親会がありました。

台湾の中華おこわ、タイのサラダ、ネパールのカレー等、おいしい料理がならびました。

普段はあまり顔を合わさない方達の自己紹介がありました。今年度もFICECの活動の応援をよろしくお願い致します。



「東京新聞の取材を受けました」

東京新聞(7月4日号)に、ふじみの国際交流センターが取材を受けた内容が載っています。

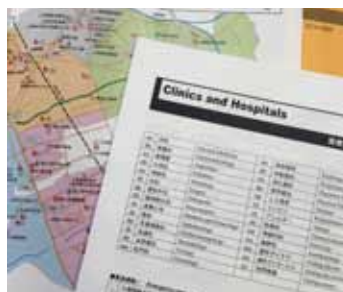


<http://www.tokyo-np.co.jp>

記事には、『外国人の子どもへ 遅れる日本語教育』と題して、親の都合で来日した子どもたちの現状が書かれています。

言葉の壁から友人がなかなかできず、日本語が理解できないため学力が低いとみなされてしまい、やる気や希望を失い孤立してしまう子どもたち。「子どもたちの可能性が失われることがあってはかわいそうだ。そうした子どもたちのための日本語教育に、もう少し目を向けてあげたい」(理事長)

「ふじみ野市生活ガイドブックがHP から見られます」



(PDF版)

平成28年度版ふじみ野市生活ガイドブックが完成しました。英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語で翻訳してあります。出来上がったものは、ふじみ野市協働推進課に置いてあります。

また、ふじみ野市役所のHPからもPDFで見ることができます。FICECのHPのトップページからも、行くことができます。

センターの活動をご支援ください  
**会員・賛助会員・寄付のご案内**

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●センターを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

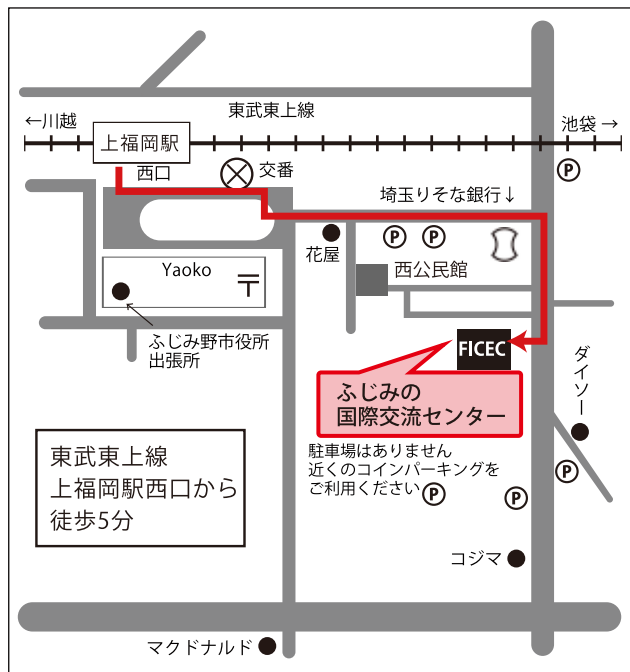
郵便振替口座: 00110-0-369511  
 口座名: ふじみの国際交流センター

**外国人生活相談 無料**

月曜日～金曜日 10:00～16:00  
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
 センターをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター**

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291  
 生活相談専用電話 049-269-6450

**ご寄付をいただいた方々**  
 ご支援ありがとうございます

●2015年7月1日～2016年6月30日 (50音順・敬称略)

秋本ノエミ、新井順子、新井洋子、安部幸枝、安銀柱、石塚雄康、イスマイロワマストラホン、伊藤真弓、板倉浩子、市川美緒、上原美樹、遠藤慧子、大澤エミリー、小熊一雄、葛西敦子、加藤由里子、金沢国勝、金田康好、神田順子、木場ひろみ、木村澄江、樟山直美、熊谷洋興、栗嶋三千代、小林暁美、駒形一夫、酒井有香、佐竹裕子、佐藤弘康、佐藤義治、佐藤光江、塩野輝之、島田道子、島田敏郎、ジェニファーラグリ、ジョージチャ、江科、関ニールンテイ、高橋郁子、滝澤淳子、竹内直江、武田早希、立麻肇子、田中つや子、チャミラー、チャミンダ、鄭玄淑、出口優子、寺村璧如、戸塚咸子、中島恵津子、萩原千代子、早瀬佐恵子、彦由章、平野美千子、藤島伸子、星野秋梅、本多香、松本佑子、向吉孝子、茂木久美子、森田信子、八木一之、矢澤美紀、山内典子、吉井ジュリエッタ、吉永義仁、邱皇親、邱亜蘭、劉圭霖、集英社、東入間地区遊技業防犯協力会、立麻医院、イオン(株)大井店

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター

**サービス案内**

外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費	
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円 (材料費別途)	
日本人	多文化共生講座	20,000円+交通費	
講師派遣	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)	
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等		内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作		
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ	
	その他文書	A4 3,000円/ページ	
通訳	半日5,000円+交通費		
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日	
○印刷機、コピー機が使えます			

**ボランティア活動に、ご参加ください**

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。